

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 東濃高等学校 学校運営協議会（第1回）
- 2 開催日時 令和7年6月12日（木） 14:40～16:40
- 3 開催場所 東濃高等学校ガイダンス室
会議開催前、委員による授業参観を実施した。
- 4 参加者

会 長	筒 井 幹 次	御嵩町副町長
副 会 長	佐 口 清 道	会社役員
委 員	奥 村 恒 也	御嵩町教育長
	各 務 眞 弓	NPO 法人可児市国際交流協会 理事・事務局長
	田 中 静 子	地域代表
	山 口 健	保険代理店
	山 田 泰 平	東海化成工業(株)業務部人事総務課長”
	梅 内 望	P T A副会長
	遠 藤 弘 美	P T A副会長
学 校 側	二 村 文 敏	校長
	野 田 幹 也	事務長
	松 久 潤	教頭
	土 本 繁	教頭
	佐 合 ゆかり	教務主任
	前 田 知 美	生徒指導主事

5 会議の概要（協議事項）

(1) 令和7年度学校教育目標・具体的重点目標について

- ・学校紹介及び令和7年度教育指導の重点及び学校運営計画
- ・令和7年度の方針と重点及び取り組みについて

【アドバンス部（教務担当、進路指導担当）、生徒指導部】

質問1：授業参観等で学校の様子を知る機会はあるか。

⇒秋に「ふるさと教育週間」で公開授業を行う予定である。今年度は赤陵祭（文化祭）も見てもらえる時間を設けたい。

質問2：遅刻数を減らすために、どのような取り組みがされているか。

⇒「時間を守る」意識を高めるため、校舎の入り口付近に「遅刻ゼロ週間」の標示や学年ごとの達成日数を掲示している。加えて毎月、生徒指導通信にも同様の内容を掲載している。通信には、良いこと（善行）も紹介している。

質問3：経済的な理由により、進学から就職へ進路変更することは避けられないものか。進路実現に向けて何か方法や対策、支援がないものか。

⇒懇談を丁寧に行い、奨学金など利用できる制度について紹介をしている。

(2) 意見交流

- 意見 1 : 地域のボランティアに来てくれる生徒が増えてきている。具体的には、月 1 で多言語の読み聞かせや、地域の祭りで多言語のアナウンスをしてくれている。
- 意見 2 : 授業ではかなり難しい日本語が出てきていたが、挙手する生徒も多く、前向きかつ積極的に授業に参加していて素晴らしかった。現在、名鉄広見線の存続に関する協議が行われているが、全国的にも唯一といえる多様性のある学校の特色から考えても名鉄線は重要であると思う。
- 意見 3 : 授業で生徒の積極的な発言があるなど、取り組む姿勢が年々良くなっている。地域の方から、東濃高校のことを聞かれることがあるが、生徒の活動や学びを説明していきたいと思う。生徒の成長につながることを目的に、ボランティアに参加するなど、生徒が外へ出て話す機会を作ってほしい。
- 意見 4 : 楽しそうに授業を受けていた。学校全体に落ち着いた雰囲気を感じたが、それは生徒たちも感じているだろう。生徒の姿勢に崩れが見られない。ノートを取る、先生の問いかけに反応する姿勢が素晴らしい。板書にふりがなをふるなどの丁寧さもみられ、生徒と先生の間に信頼関係があるように感じた。加えて、昨年度の卒業式での代表生徒の言葉にもあったように、自己有用感や満足感など、この学校で 3 年間学んだ達成感を感じている生徒がいることが伝わった。
- 意見 5 : 先生方の授業の仕方が変わってきた印象がある。板書においても生徒に理解できるようにと心がけているように感じられた。最近、国際教室に来る生徒と話した際、高校の授業がわかるようになって楽しい、と話してくれる子が多数いた。中学校までに成功体験が積み重なった生徒も、授業で理解できるような工夫がされていることがよくわかった。
- 意見 6 : 最近、東濃高校の生徒が市町の防災訓練で、災害時の情報を多言語で発信するボランティアに参加してくれて、若い思考が生かされて、災害対策につながるアイデアを出してくれた。制服のリサイクル活動についても協力したい。また、外国籍の生徒だけではなく、日本人の生徒にも支援していきたい。
- 意見 7 : 細かく授業を見せていただけてよかった。多様性のある教育について、現場の先生方の苦労があると感じた。目標があるから、それに向けてさまざまな課題がクリアされているのだと思う。遅刻の統計数が減らないことから今後、遅刻がなぜ悪いのかを気付かせる指導ができるといいと思う。卒業後の進路で困らないように、先を見越した進路指導がされていることがよいと思った。
- 意見 8 : 外国につながる生徒が 3 年前の 50% から 1 年生においては約 70% になっている現状で、全国でも希であり県下で唯一であることがわかった。日本人の生徒は何を学ぶのか。例えば、友人から英語を学ぶことができたとしたら日本の生徒も 2 言語を身に付けられ、英検に取り組んでいくこともできるだろう。社会に適応できて信頼される社会人になるべく、目指すべき生徒像と照らし合わせて、指導していただきたい。今後は、これから東濃高校を目指す中学生に入り口を示していくことが大切だと思う。同時に外国につながる生徒と日本人の区分を見据えて、今年度の取り組みを見ていくとともに、地域の企業の目線で意見を伝えたい。
- 意見 9 : 授業参観ができてよかった。子どもの学校での様子が見られることは、PTA 役員をやるきっかけにもなるのではないかな。
- 意見 10 : 家で学校での様子を色々話してくれるようになり、テストの点が上がったと喜んでいる。授業を見て、先生と良い関係を作っているからテストの点が上がったのだと思えた。遅刻については、ギリギリで登校していることもあるので、みんな遅刻の数を減らせたらいいいと思う。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の教育指導の重点及び学校運営計画について承認が得られた。今後は具体的目標や取り組みについて、得られた意見を参考にして、組織的に教育実践を行う。学習指導においては「わかる授業」と個に応じた学習支援を行うこと、進路指導においてはキャリア教育を含めた総合な支援を行うこと、生徒指導においては「あじみ（挨拶・時間を守る・正しい身なり）」の実践を大切にして、社会に出て通用する人間力を育てることを重点としたい。また、地域の方々や保護者に対して、ホームページや一斉配信メール（すぐーる）などを活用して、学校の様子を知る機会を増やしていきたい。加えて、地域とのつながりを大切にした実践を積極的に行い、高校卒業後も主体的に学ぶ姿勢を持ち続け、社会生活の中で自分の能力や可能性を最大限に伸ばし自己実現ができるように生徒の育成を目指したい。